

一人は万人のために、
万人は一人のために

生協の理念

わたり病院玄関に掲げてあります

ふくしま



発行所
福島医療生協

2020年4月号 第408号
発行責任者 渡辺 幸夫
<http://watari-hp.jp/>

福島医療生活協同組合
医療生協わたり病院
生協いいの診療所
医療生協わたり病院附属
ふれあいクリニックさくらみず

TEL 024-522-1236
TEL 024-521-2056
TEL 024-562-4120
TEL 024-559-2664

〒960-8141
〒960-8141
〒960-1301
〒960-0241

福島市渡利字中江町66番地
福島市渡利字中江町34番地
福島市飯野町字後川27-2
福島市笹谷字釜谷地20-1

医療生協

研修医の一年

臨床医^{※1}になる場合、日本では六年間の医学教育と医師国家試験を経たのち、二年間の臨床研修が義務付けられています。昨年度、研修に励んだ二名の研修医に一年を振り返ってもらいました。

※1 患者(人)の診療に携わる医師

わたり病院での 初期研修を振り返って

二次研修医

高野 早也香

研修医二年次の高野と申します。一年間わたり病院で

研修させていただきました。前半は他病院で研修している期間が長かったのですが、九月以降はわたり病院の内科でお世話になりました。わたり病院では指導医の先生方やスタッフの皆様方、患者



外来診療を行う高野先生

さんにも親切にしてください、とても充実した研修を送ることができました。さまざまな患者さんと関わらせていただく中で、一つの分野の専門知識だけではなく幅広い分野の知識を身につけることの大切さを身にしみて感じています。四月からは福島医大で研修を続けていきます。わたり病院で学んだことを忘れず、広い視野を持って患者さんに寄り添える診療を目指していきたいと思っています。一年間お世話になりました。

二年目を振り返って

一年次研修医

福地 雄太

一年次研修医の福地雄太です。一年目の半年は、わたり病院の内科で研修し、残りは福島県立医大の救急科等で専門的な医療を経験したほか、郡山医療生協 桑野協立病院の整形外科でも研修しました。一年目ということ、何をやっても新鮮な体験であり、日々成長を感じることができ、楽しく研修させて頂きました。今年度も引き続き、臨床能力を高め、地域の皆さんに還元できたらと思っています。私が順調に医師として研修に従事できているのも、たくさんの方々

四月から三名の 臨床研修医を迎えました!

片岡 秀真 医師
(福島医大卒/広島市出身)

齋藤 優衣 医師
(福島医大卒/福島市出身)

松本 明紘 医師
(福島医大卒/田村市出身)

三名とも学生時代より班会等に参加していましたが、聞き覚えのある方もいらっしゃるかもしれませんね。よろしくお願いいたします。



病院たんけん隊で子どもに囲まれる福地先生

の支えがあつてのことと実感しております。この場を借りて感謝申し上げます。また今年度は、新しい研修医を迎

えます。研修医一同、わたり病院の発展のため頑張ってください。今後も温かく見守って頂けたら幸いです。

健康づくりチャレンジ 2019まとめ

健康づくりチャレンジは、福島県内五つの医療生協（福島・きらり・郡山・浜通り・会津）が協力し行う企画として二〇一六年度から実施し、今回で四回目となりました。県内の多くの方々健康意識向上への大きな一歩となつていきます。また、小さなうちから健康習慣を身につけようと『キッズチャレンジ』の取り組みも広がっています。

新しい健康習慣のために

今回チャレンジに参加された大人の方からは、『毎日シートに記録することで意識も変わり、明らかに食事が変わった』『体操やストレッチを毎日続けたら、足の痛みが減り歩くのが楽になった』『今回初めて参加したが、とても楽しくチャレンジできた。次回もぜひ参加したい』などの感想をいただきました。新しい習慣づけのために、たくさんの方に活用いただけたようでした。

九百十四名のチャレンジ

昨年度の参加者は、一般八百六名、キッズ百八名、延べ九百十四名です。支部の運営委員さんや健康づくり委員さん、班長さんなどが参加者に声をかけて、チャレンジシート（記録表）を集めていただきました。その結果七百四十八名の方が記録用紙を提出してくださいました。尚、台風19号の被害の大きかった地域では参加の声かけが難しかったこともあり、前回より参加者数が落ちてしまつております。そのような困難な状況の中でも、今回支部の方に誘われ初めて挑戦されるという方にもたく

健康チャレンジ2019 名産品抽選結果

支 部	氏 名	名 産 品
大森永井川	山口 京子	あんぽ柿
大笹生笹谷	安藤 香織	お菓子セット
川 俣	高橋 初子	けずり節
杉 妻	八島 靖子	乾燥しいたけ、きくらげセット

抽選の結果4名の方に県内名産品が当選しました。
おめでとうございます!!

毎回参加している方も新鮮な気持ちで取り組めるように、健康づくり委員さんや地域の組合員さん、職員が協力し企画を考えています。新年度を迎え、新たな気持ちで身についた生活習慣を継続していけるといいですね。

組合員活動部
箱守 菜々



「原発事故・大規模災害対策委員会（以下委員会）」は理事や職員で構成し、東日本大震災以降活動して来ましたが、ここ数年の自然災害にも対応しています。

東日本大震災の対応

東日本大震災では、避難所や仮設住宅への支援、食品の放射線量測定、空間放射線量の測定、全国の支援で設置されたホールボディカウンター、甲状腺エコー検査など、多岐にわたって対応しました。全国から視察に来られた方々に対して福島県の現状を訴える活動なども行ってきました。

仮設住宅の支援は、復興住宅や地域の班活動に変更し終了しましたが、その他の活動は、今も続いています。震災を忘れない、原発事故を風化させない活動は、今後も重要だと考えています。防災マップの学習など災害への備えも重要な活動となっています。防災班会なども地域で行われています。また、二〇一六年には、熊本地震支援のために職員派遣を

原発事故・大規模災害 対策委員会の活動

事務局 総務部長 山口 裕

行いました。

台風19号の被災支援活動

昨年は、十月に起きた台風19号の被災支援活動を行いました。募金活動はもとより、被災直後から泥かきや片付けの支援活動も行いました。伊達市からの依頼で「まちの駅やながわ」での健康相談を実施し、健康面も含め様々な不安に応えるなど被災者に寄り添った活動ができました。被災し落

こ数年、毎年のように自然災害が起きています。地域住民の孤立化や高齢化が進む中で、協力して災害に取り組む活動は重要性を増しています。地域の結びつきを強め、災害から復興できるように活動を進めていきます。

胆されていた方が元気になる姿をみて、こちらが励まされることもありました。今回の台風19号の支援活動で、二本松市長、伊達市長から感謝のお手紙をいただきました。職員と組合員、そして地域が一体となった活動ができました。

全国から募金も寄せられ、被災した組合員さんに渡す活動もしました。

まちの駅やながわ再開

2/16（日）、台風19号で被害を受けた『まちの駅やながわ』が再開しました。被災当時、伊達市からの要請で福島医療生協が



伊達市長も応援

健康相談や地域訪問の拠点とした場所です。まちの駅が被災者の心のよりどころになればと、支援物資を届け、後片付けを手伝いました。

再開当日は大勢のお客様さんで大混雑。駅長さんからは「医療生協さんには大変お世話になりました。ようやく再開できました。ありがとうございます」と感謝の言葉をいただきました。

言語聴覚士の

訪問リハビリについて

言語聴覚士
加藤 優美

「言語聴覚士」は「話す・聞く・食べる」のスペシャリストとして様々な障害を抱えた方々に指導・助言・訓練を行っています。病院で業務を行うことが多い

ですが、高齢者の人口が増える中、在宅でリハビリを行う訪問リハビリの需要も高まってきています。当院では、理学療法士や作業療法士の訪問リハビリは以前から行われていましたが、言語聴覚士による訪問リハビリは体制が整わず、実現できませんでした。ようやく今年二月から訪問リハビリ専属の言語聴

覚士（一名）を誕生させることができました。

現在、わたり病院訪問リハビリ室に所属しながら、様々な訪問看護ステーション、ほほえみ訪問看護ステーション等、各事業所からの要請に応え、少しでも多くの方に利用していただくよう奮闘中です。飲み込みや、聞こえ、言葉に関する事でご相談がありましたら、ぜひ一度ご連絡ください。よろしく願います。

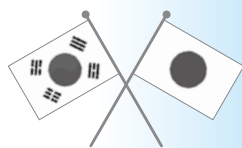


●連絡先

わたり病院

訪問リハビリテーション

080-1800-5612

九条の会学習会
日韓関係と
歴史認識について社会保障担当理事
佐藤 克行

二月十五日、福島医療生協九条の会の主催で、福島大学経済経営学類の伊藤俊介准教授を講師に、「日韓関係と歴史認識について」と題した学習会が行われました。以下講演の要旨を紹介いたします。

日韓関係悪化の原因は何か

日本と韓国との関係のゆがみのはじまりは、尊王攘夷運動の中で誕生した明治政府の、天皇制国家の確立に向けた朝鮮半島支配政策にありました。この政策は軍事的な

圧力と非法的な手段です。すめられ、一九一〇年の韓国併合によって韓国は日本の植民地となりました。この間に、旧陸軍関係資料でも民間人だけで三万人が死亡したとされ、抗日運動とこれに対する日本軍の弾圧は、相対的なものだったと推測されます。

日韓基本条約とは？

第二次世界大戦の終了によって、一九六五年に日韓基本条約が結ばれますが、日本の植民地支配に対する清

算は曖昧にされました。その背景には、冷戦構造の中で、日本と韓国を東アジア支配の砦にしたいアメリカ、朝鮮戦争にともなう特需景気を背景に世界進出をねらう日本、クーデターで誕生した朴政権のアメリカ日本との連携による政権確立などの思惑が重なったものでした。条約には「解釈が異なる場合には、英文の本文による」と記され、日韓両国が都合の良いように解釈できるものになりました。この曖昧な決着が、その後の日韓関係に大きな影を落とすことになりました。

憲法九条こそ問題解決の道

日本側には、「首相が終戦記念日などに毎年謝罪して

いるのに、謝罪しろと繰り返すのはおかしい」という人たちがいます。しかし、それは談話であり、国際関係における謝罪には、国会での決議と両国間の条約締結が必要です。

両国が経験した歴史を見つめ、互いを知り合い踏み出すことが、友好な関係を築く一歩になると思います。

以上が伊藤先生の講演の要旨です。

いま日本政府は、朝鮮半島の植民地支配など、日本が戦前に行った侵略行為への反省を曖昧にしたまま、自衛隊を海外に派遣し、戦争のできる国づくりを進めています。そのために、憲法九条の改悪をねらっています。こうした

いいの診療所だより

飯野つるし雛まつり

いつもは人通りもまばらな旧道沿いの商店街に、鮮やかなピンクののぼり旗が並び、楽しい音楽が流れています。今年も町をあげての「つるし雛まつり」が始まりました。そう遠くない昔、絹織物で栄えたこの町の伝統や手先の器用さが結集された作品は、どれを見ても見事な出来栄です。



微笑む鷺津看護長（待合室にて）

商店街の終点にある「いいの診療所」にも春の足音が…。待合室には立派な七段飾りとつるし雛が飾られ、いっしょに華やかに患者さんをお迎えしています。

ところで、つるし雛まつり十三回目の今年は折悪しく、コロナウイルスが流行っています。安倍首相から学校休校やイベント等中止が要請され、世の中大混乱に…。もともと子どもが無病息災を祈るためだった行事も、人々の増大する不安に負けそうです。

いいの診療所では今の所混乱もないようです。普段通り落ち着いて仕事をしている看護師さん達を見て、ちよつと安心しました。

（飯野支部 佐藤かおる）

転居の際は医療生協へご連絡を

4月は就職や転勤、進学などで住まいが変わる方も多い時期です。住所を変更される組合員さんは、福島医療生協本部または、お近くの班長、支部長へご連絡をお願いいたします。

Tel. 024-522-1236

Fax. 024-521-3475

（福島医療生協 組合員活動部）



放射線による健康影響の不安軽減のため、内部被ばく検査を受けましょう。

医療生協わたり病院ではホールボディカウンタによる内部被ばく検査を行っています【お問い合わせ：医療生協わたり病院健診センター Tel.024-522-3446】

2/22

3/8

みんなで助け合って 来年で30周年

清水北支部
クローバー班

クローバー班は来年で結成30周年を迎えます。これまで、健康や平和について勉強をしたり、みんなで旅行に行ったりしながら活動を続けてきました。班会に参加できない人に活動をお知らせするために三年目からニュースの発行もしています。また、班会の回数は、再来年で三百回目を迎える予定です。

私たちが班活動で何をしてきたかという、わた

り病院の先生に講演をしていただいたり、子どもと一緒に社保学校に参加したり、芋煮会やハイキング等を行ってきました。また、みんなで千葉や東京、栃木など様々な場所に出かけました。私たちがここまで活動を続けることができてるのは、家族ぐるみの付き合いをしていく中で、深いつながりができ、一緒に活動したいという人たちが加わってくれたからです。



クローバー班

では、みんなの不安なことを話すだけではなく、「夢」や「やりたいうこと」も出し合ってきました。これからもう助け合いながら、「医療生協」に入っただけでなく、組合員になってよかった。みんなが思えるような活動を続けていきます。



全国禁煙ポスターコンクール
最優秀賞受賞!

2020年「WHO5.31医療福祉生協連世界禁煙デーポスターコンクール」最優秀賞を大森小学校・丹野優真さんが受賞されました。おめでとうございます。

困りごとがある方は、 無料法律相談 をご活用ください!!



無料法律相談は、毎週第2木曜日に行っています。

これまで、遺産相続・保証人・借金などのお金に関する相談や、個人情報保護、原発事故の補償、近隣トラブル、交通事故の補償など、いろいろな相談を受け付けてきました。

保証人になってしまって生活が苦しい、生前贈与や遺産配分について知りたい、交通事故でトラブルになっているなど、困りごとや知っておきたいことがある方は、福島医療生協(Tel. 522-1236)までご連絡ください。

「こんなことで相談していいのかな」、「誰にも相談できなくて、どうしたらいいかわからない」という方も、まずはご連絡ください。ご連絡をお待ちしております。

無料 法律相談会

- 日時
毎月第2木曜日
13:30~15:30
※日には変更になる場合があります。
- 場所
医療生協わたり病院内
事前申込制
Tel. 024-522-1236
- 相談員
あぶくま法律事務所弁護士

INFORMATION

これからの行事

さくらみず健康ウォーク2020

- ◆日時/4月29日(水・祝)9:30~14:00
- ◆場所/桑折町うぶかの郷
※事前にお申し込みください。

駅前健康チェック

- ◆日時/5月9日(土)13:00~15:00
- ◆場所/福島駅東口駅前広場

コロナウイルスの流行状況によっては中止になる事もあります。ご了承下さい。

組合員のみなさんからの記事を募集しております。
ご意見ご感想、身の回りのことなどをお寄せ下さい。
素敵な作品なども大歓迎です。



- お問合せ
福島医療生協組合員活動部
Tel. 024-522-1236



警察学校の脇の坂道の登り口左側(蓬萊町三丁目)に、「種まき兔伝説発祥の地」の碑(一九九七年)と、梅宮茂先生が書き記した種まき兔の由来の看板がある。

ここに住んでいたみなし子が、小さな農地で生活していた。ある時拾ってきた親子兔をかわいがっていた。日照りが続いた年、トンビが兔をさらって「融雪季の高山の残雪の形、種まき桜など(略)と合わせて仕事をすすめる慣習が各地にある」(「福島県史」24)山の多い長野県でも白馬岳や木曾駒ヶ岳のように、雪解けの山肌(黒い地面)に馬の形を見つけ、田植えなどを始める。福島では、残雪だから「雪兔」になったが、本当は「種まき兔」として農民に親しまれたものであった。

私の名前は「種まき兔」です

蓬萊支部 菅野 家弘

★ふるさと歴史探してみませんか★ 51